**FD LPR** 

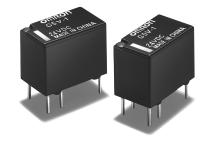
CSM\_G5V-1\_DS\_J\_1\_4

#### マイクロリレ

## 小型、高感度1極信号用リレー

- 小型サイズ 12.5(L) ×7.5(W) ×10(H) mm。
- ●ワイドな接点のスイッチング領域1mA~1A。
- 高感度コイル 150mW。
- プラスチックシール・タイプのため、耐環境性が高い。
- コイルー接点間FCC part68準拠。  $(1,500V,10\times160 \mu s)$

RoHS適合



#### ■形式基準

形G5V-□

①接点極数/接点構成

(1)

1:1極/lc

■種類(◎印の機種は標準在庫機種です。 無印(受注生産機種)の納期についてはお取引き商社にお問い合わせください。

種類	項目 接点構成	形式	コイル定格電圧(V)	最小梱包単位	
プラスチック・ シール形	1c	形G5V-1	©DC 3		
			©DC 5		
			DC 6	OF (FF)	
			©DC 9	25個/スティック	
			©DC12		
			©DC24		

注. ご注文の際には、コイル定格電圧(V)を明記ください。

例:形G5V-1 DC3

また、納入時の梱包表記やマーキングの電圧仕様は□□VDCとなります。

# ■基準形仕様

用途例

接点接触機構:クロスバ・シングル

電話関連機器、通信機器、AV機器

(Au合金+Ag)

保護構造:プラスチック・シール形

端子形状: プリント基板用端子

注. 特殊シリーズ品としてクロスバ・ツイン接点 タイプの形G5V-13を品揃えしています。

#### ■定格

#### 操作コイル

定格電圧(V)	項目	定格電流 (mA)	コイル抵抗 (Ω)	動作電圧 (V)	復帰電圧 (V)	最大許容電圧 (V)	消費電力 (mW)
	3	50	60				
	5	30	167				
DC	6	25	240	80%以下	10%以上	200% (at23℃)	約150
	9	16.7	540				
	12	12.5	960				
	24	6.25	3,840				

- 注1. 定格電流、コイル抵抗はコイル温度が+23℃における値で、公差は±10%です。

  - 2. 動作特性はコイル温度が+23℃における値です。 3. 最大許容電圧は、リレーコイルに印加できる電圧の最大値です。
  - 4. 特殊シリーズ品として動作電圧70%以下の形G5V-1-2を品揃えしています。

## 開閉部(接点部)

負荷 項目	抵抗負荷
接点接触機構	クロスバ・シングル接点
接点材質	Au合金+Ag
定格負荷	AC125V 0.5A, DC24V 1A
定格通電電流	2A
接点電圧の 最大値	AC125V DC60V
接点電流の 最大値	1A

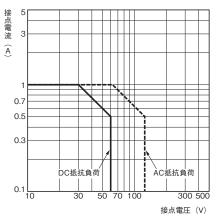
#### ■性能

接触抵抗 *1		100mΩ以下	
動作時間		5ms以下	
復帰時間		5ms以下	
絶縁抵抗 *2		1,000ΜΩ以上	
耐電圧	コイルと接点間	AC1,000V 50/60Hz 1min	
	同極接点間	AC400V 50/60Hz 1min	
振動	耐久	10~55~10Hz 片振幅1.65mm(複振幅3.3mm)	
1灰里川	誤動作	10~55~10Hz 片振幅1.65mm(複振幅3.3mm)	
衝撃	耐久	$1,000 \text{m/s}^2$	
	誤動作	$100 \text{m/s}^2$	
耐久性	機械的	500万回以上(開閉ひん度36,000回/h)	
	電気的	10万回以上(定格負荷 開閉ひん度1,800回/h)	
故障率P水準(参考值*3)		DC5V 1mA	
使用周囲温度		-40~+70℃(ただし、氷結および結露しないこと)	
使用周囲湿度		5~85%RH	
質量		約2g	

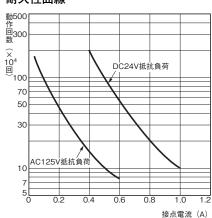
- 注. 左記は初期における値です。
- \*1. 測定条件: DCIV 10mA 電圧降下法による。\*2. 測定条件: コイル-接点間DC500V、同極接点間DC250V絶縁抵抗計にて耐電圧の項と同じ箇所を測 定。
- この値は開閉ひん度120回/minにおける値で、接触 抵抗の故障判定値は100Ωです。
  - この値は開閉ひん度、使用雰囲気によって変化することがありますので、実使用条件にてご確認の上、 ご使用ください。

#### ■参考データ

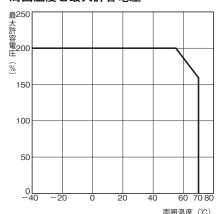
#### 開閉容量の最大値



#### 耐久性曲線

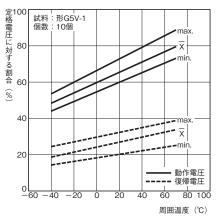


#### 周囲温度と最大許容電圧

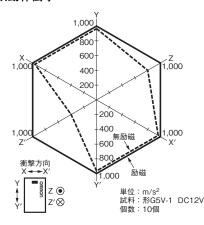


注. 最大許容電圧は、リレーコイルに印加で きる電圧の最大値です。

#### 周囲温度と動作・復帰電圧

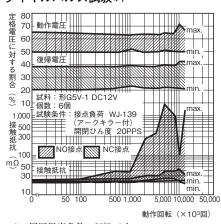


#### 誤動作衝撃

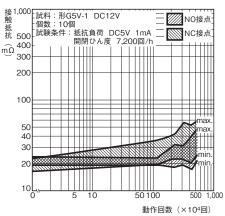


測定:3軸6方向に無励磁で3回、励磁で 3回、それぞれ衝撃を加え接点の 誤動作を生じる値を測定。

#### ダイヤルパルス試験\*1



#### 接触信頼性試験\*1、\*2



- \*1. 周囲温度条件+23℃です。
- \*2. 接触抵抗のデータは定期測定時の参考値で毎回モニタリングされた値ではありません。 接触抵抗値については、開閉ひん度、使用雰囲気によって変化することがありますので、実使用条件にてご確認の上、ご使用ください。

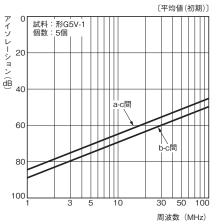
#### 高周波特性

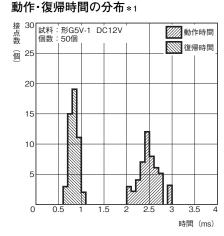
・試験方法



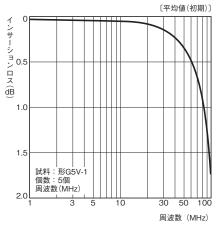
測定に関係しない接点は50Ωにて終端する。 測定インピーダンス:50Ω 注. 高周波特性データは測定用ソケットを用いた値であり、使用条件によって値 は異なります。ご使用にあたっては実機にての確認が必要です。

#### 高周波特性(アイソレーション)\*1、\*2

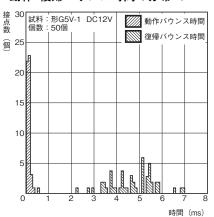




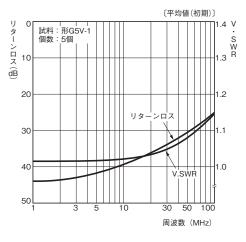
#### 高周波特性(インサーションロス)\*1、\*2



動作・復帰バウンス時間の分布\*1



高周波特性(リターンロス、V.SWR) \*1、\*2

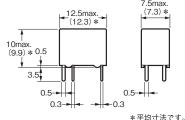


- 周囲温度条件+23℃です。 **\***1.
- 高周波特性については、実装基板により特性 が異なるため、実機にて耐久性を含めご確認 の上、ご使用ください。

■外形寸法 (単位:mm)

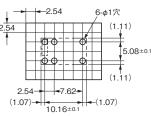
#### 形G5V-1



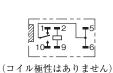


注. 一般寸法公差は±0.3mmです。

#### プリント基板加工図 (BOTTOM VIEW)



#### 端子配置/内部接続図 (BOTTOM VIEW)



注. 「一 図は、商品の方向指示マークを表わします。

## ■海外規格認証定格

UL規格認証形 CSA規格認証形

ファイルNo.E41515 (1) ファイルNo.LR31928

極数	操作コイル定格	接点定格	試験回数
1c	3 24V DC	1A 30V DC 40°C 0.3A 110V DC 40°C	6,000回
		0.5A 125V AC 40°C	100,000回

注. 標準形式でご注文頂きますと UL/CSA の規格認証マークつきの商品とな ります。

#### ■正しくお使いください

●共通の注意事項は、「プリント基板用リレー共通の注意事 項」をご覧ください。

#### 使用上の注意

#### ●長期連続通電する場合

リレーを開閉動作しないで長期間連続通電するような回路で使 用する場合には、コイル自身の発熱によるコイルの絶縁劣化や接 点表面での皮膜の生成などにより接触不安定が促進されます。こ のような回路の場合、万一の接触不良やコイル断線にそなえて、 フールプルーフの回路設計をお願いします。

#### ●リレーの取り扱いについて

はんだ実装後に洗浄される際は急冷を避け、アルコール系または 水系の洗浄剤をご使用ください。また洗浄温度は40℃以下にして ください。